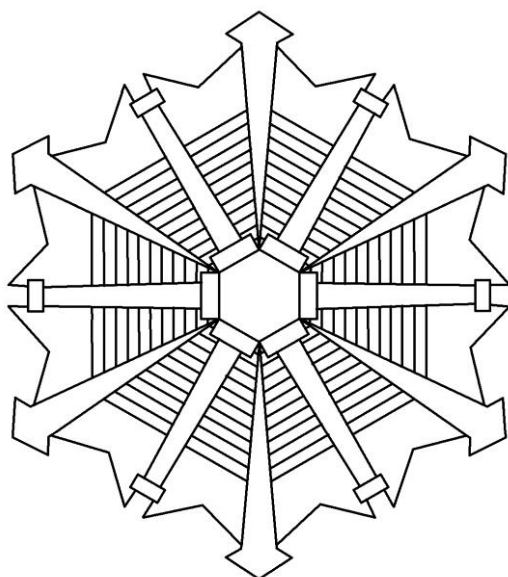


消防現況

令和5年版



久万高原町消防本部



= 目 次 =

◇ 火災編	1
◇ 救急編	5
◇ 救助編	23
◇ 予防編	27



火 災 編



火を消して 不安を消して つなぐ未来

久万高原町内の火災の実態

1. 火災の状況

(1) 地区別火災発生状況

管内における令和5年の火災発生件数は4件（久万地区1件、美川地区3件、面河及び柳谷地区は0件）で、前年より6件減少している。

第1表 地区別火災発生状況

区分		久万高原町								合 計	
単位	久万地区		面河地区		美川地区		柳谷地区		令和4年	令和5年	
	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年			
出火件数		5	1			5	3			10	4
建物	件					3	1			3	1
林野		1	1				1			1	2
車両						1				1	－
その他		4				1	1			5	1
損害額		1,583	108			4,910	9,497			6,493	9,605
建物	千円					3,743	9,201			3,743	9,201
林野		771	108				296			771	404
車両						1,167				1,167	－
その他		812								812	－
焼損棟数	棟					4	3			4	3
り災世帯数	世帯					1	1			1	1
り災人員	人					1	4			1	4
死者 負傷者	人					2	1			2	1
出火率	%									13.2	5.6

久万高原町人口：7,145人

(注)人口は令和5年12月末現在

(2) 四季別の火災発生状況

第2表 四季別火災発生件数及び損害額

年 別 季 別	令和4年			令和5年		
	火災件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)	火災件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)
春季(3月～5月)	4	40.0	1,583	2	50.0	404
夏季(6月～8月)	1	10.0	1,167	0	0	0
秋季(9月～11月)	2	20.0	3,213	1	25.0	9,201
冬季(12月～2月)	3	30.0	530	1	25.0	0
合 計	10	100.0	6,493	4	100.0	9,605

(3) 建物火災の状況

第3表 建物火災の状況

月 日	地 区	出火元の用途	焼損棟数	焼損程度	焼損床面積	焼損表面積
10月 5日	美川	不明	3	全焼	231 m ²	0 m ²

(4) 覚知方法

第4表 覚知方法別件数

覚知方法	火災報知専用電話 (固定電話)	火災報知専用電話 (携帯電話)	加入電話	事後聞知	合計
件数(件)		4			4

(5) 時間帯別の火災発生状況

第 5 表 時間帯別出火件数

時間帯	4時～10時	10時～16時	16時～22時	22時～4時	合計
件数(件)		3	1		4

2. 火災による死傷者の状況

令和 5 年の火災による死傷者は、負傷者 1 名であった。なお、死者については、平成 29 年 5 月から発生していない。

3. 初期消火

令和 5 年中に発生した火災 4 件のうち、初期消火の実施は 2 件(もみ消した)であった。

4. 出火原因

第 6 表 火災別発火源・経過・着火物

火災種別	月日	発火源	経過	着火物
その他	2 月 17 日	ライター	火源が動いて接触する	枯草
林野	3 月 6 日	その他の裸火	火源が動いて接触する	枯草
林野	4 月 3 日	不明	不明	不明
建物	10 月 5 日	不明	不明	不明

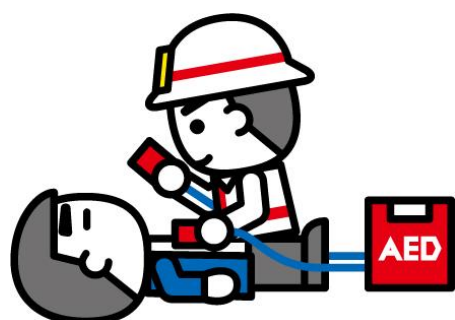
令和5年 火災一覧表

火災番号	出火月日	火災種別	出火場所	出火時刻	覚知時刻	鎮火時刻	天候	風速 (m/秒)	湿度 (%)	火元用途	構造燃焼物	焼損棟数 全焼 半焼 部分焼	り災 世帯 ぼや	死傷者 死者 負傷者	焼損面積 床面積 (㎡) 表面積 (㎡) 林野 (a)	損害額 (千円)	出火原因			
1	2/17	その他	原野	12:35	12:44	13:15	曇	2.2	48.5	原野				1	456		作業道の北側で用を足し、使用済みのディスプレイベーパーにライターで火を点け、焼却処分をしたところ、周囲の枯草に延焼したものの。			
2	3/6	林野	山麓	10:50	11:23	12:05	晴	3.3	35	人工林					14	296	木を井の字型に組み、その中に剪定袋を積み上げて焼却していたところ、焼け崩れて、付近の枯草に燃え移り出火したものの。			
3	4/3	林野	山麓	16:00	16:04	16:30	晴	3.1	26.8	人工林					2	108	不明			
4	10/5	建物	倉庫	12:40	13:05	17:15	晴	3.1	51.2	倉庫		3	1 4		231	9,201	不明			
合計												3	1 4	1	4	1	231 456	16	9,605	

※焼損程度解説

- 全焼
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 半焼
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 部分焼
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のもの、又は収容物のみ焼損したもの。
- ぼや
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の評価額の10%未満であり焼損表面積が1㎡未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。

救 急 編



ひとりひとりが 救命のワンピース

1 救急業務の実施状況

1. 救急出場件数および搬送人員…町民 13 人に 1 人を搬送

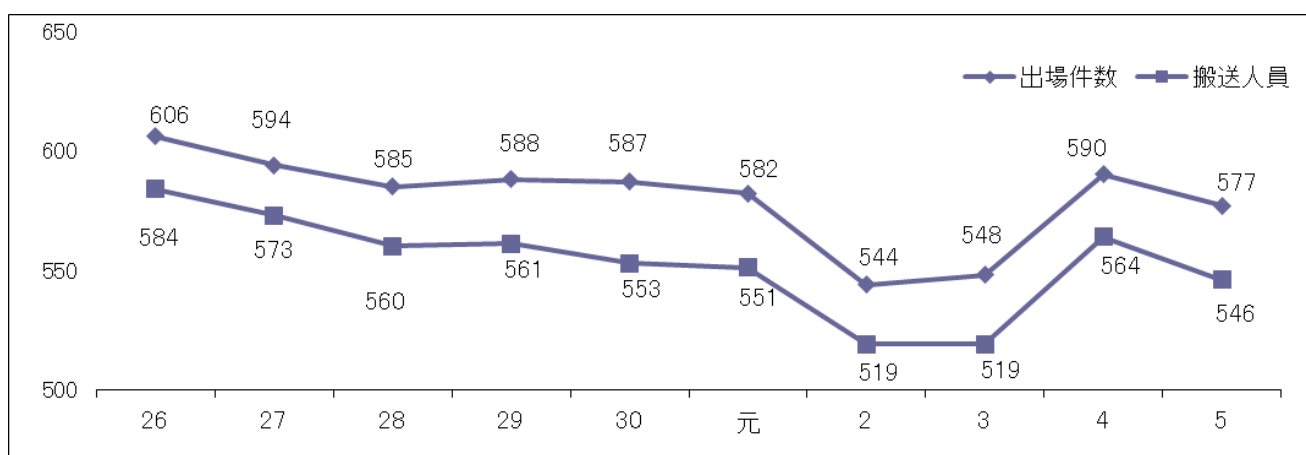
令和 5 年の救急出場件数は 577 件（1.58 件/日）、搬送人員は 546 人（町民 13 人に 1 人搬送）で、例年並みの出場・搬送状況となっている。

※管内人口 7,309 人：令和 5 年 4 月 1 日現在

（第 1 図、第 1 表参照）

第 1 図 救急出場件数と搬送人員の推移

※過去 10 年間の久万高原町の統計



第 1 表 年別救急活動の比較

年	救急出場件数		搬 送 人 員	
	件数	前年増減率	人員	前年増減率
26	606	—	584	—
27	594	▲2.0	573	▲1.9
28	585	▲1.5	560	▲2.3
29	588	0.5	561	0.2
30	587	▲0.2	553	▲1.4
元	582	▲0.9	551	▲0.4
2	544	▲6.5	519	▲5.8
3	548	0.7	519	0
4	590	7.7	564	8.7
5	577	▲2.2	546	▲3.2
累計	5,801	—	5,530	—

2. 事故種別救急出場件数および搬送人員

出場件数 577 件を事故種別で見ると、急病 279 件（48.4%）、次いで転院搬送 157

件（27.2%）、一般負傷 96 件（16.6%）となっており、上位 3 種別で全体の 92.2% を占めている。（第 2 表参照）

また、搬送人員 546 人を年齢区分別に見ると、高齢者が 402 人で全体の 73.6% を占めている。（第 3 表参照）

第 2 表 事故種別救急出場件数および搬送人員

事故種別	令和5年中		令和4年中		前年からの増減	
	出場件数 搬送人員	構成比	出場件数 搬送人員	構成比	増減数	増減率
急 病	279	48.4%	266	45.1%	13	4.9%
	261	47.8%	249	44.1%	12	4.8%
一般負傷	96	16.6%	103	17.5%	▲ 7	▲6.8%
	88	16.1%	98	17.4%	▲ 10	▲10.2%
交通事故	29	5.0%	34	5.8%	▲ 5	▲14.7%
	28	5.1%	36	6.4%	▲ 8	▲22.2%
労働災害	5	0.9%	12	2.0%	▲ 7	▲58.3%
	5	0.9%	11	2.0%	▲ 6	▲54.5%
自損行為	6	1.0%	6	1.0%	0	0.0%
	2	0.4%	3	0.5%	▲ 1	▲33.3%
火 災	1	0.2%			1	-
	1	0.2%			1	-
加 害						
運動競技	1	0.2%	2	0.3%	▲ 1	▲50.0%
	1	0.2%	2	0.4%	▲ 1	▲50.0%
水 難	1	0.2%	2	0.3%	▲ 1	▲50.0%
	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%
自然災害						
転 院	157	27.2%	162	27.5%	▲ 5	▲3.1%
	157	28.8%	161	28.5%	▲ 4	▲2.5%
その他	2	0.3%	3	0.5%	▲ 1	▲33.3%
	2	0.3%	3	0.5%	▲ 1	▲33.3%
合 計	577	100.0%	590	100.0%	▲ 13	▲2.2%
	546	100.0%	564	100.0%	▲ 18	▲3.2%

第 3 表 年齢区分別事故種別搬送人員

(546 人)

年齢区分 事故種別	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	計
急 病	1	10	4	45	201	261
	0.2%	1.8%	0.7%	8.3%	36.8%	47.8%
一般負傷			1	22	65	88
			0.2%	4.0%	11.9%	16.1%
交通事故			1	17	10	28
			0.2%	3.1%	1.8%	5.1%
転 院			1	32	124	157
			0.2%	5.9%	22.7%	28.8%
その他				10	2	12
				1.8%	0.4%	2.2%
計	1	10	7	126	402	546
	0.2%	1.8%	1.3%	23.1%	73.6%	100.0%

第 4 表 月別・事故種別救急出場件数

(577 件)

月 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
急 病	22	23	16	21	22	20	41	36	22	22	17	17	279
一 般	6	6	7	10	9	8	9	10	9	9	7	6	96
交 通	1	2	1	1	6	2	2	2	5	5	2		29
その他	1	1	1		1		4	2	2	2	1	1	16
転 院	11	7	7	13	26	9	20	12	14	14	16	8	157
計	41	39	32	45	64	39	76	62	52	52	43	32	577

第 5 表 曜日別救急出場件数

(577 件)

曜 日	月	火	水	木	金	土	日	合計
出 場 件 数	96	72	80	58	86	92	93	577

第 6 表 時間帯別・事故種別出場件数

(577 件)

事故種別 時 間	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他		計
											転院	その他	
0～2				1			1			8	2		12
2～4				1						14	1		16
4～6							1			8	2		11
6～8				5			2		1	22	1		31
8～10				2	2		14		1	41	22		82
10～12			1	7			18			44	30		100
12～14	1			5	3		17		1	31	34	1	93
14～16				5		1	19		1	30	22		78
16～18				1			9			20	24	1	55
18～20							9			38	6		53
20～22				2			4		2	11	11		30
22～24							2			12	2		16
計	1	0	1	29	5	1	96	0	6	279	157	2	577

第 7 表 住居区分別・事故種別搬送人員

(546 人)

事故種別 住居区分	急 病	一般負傷	交通事故	転 院	その他	計
町 内 居 住 者	236	58	8	144	7	453
	43.2%	10.6%	1.5%	26.4%	1.3%	83.0%
町 外 居 住 者	25	30	20	13	5	93
	4.6%	5.5%	3.6%	2.4%	0.9%	17.0%
計	261	88	28	157	12	546
	47.8%	16.1%	5.1%	28.8%	2.2%	100.0%

第 8 表 発生場所別・事故種別搬送人員

(546 人)

事故種別 発生場所	急 病	一般負傷	交通事故	その他	計
住 宅	206	43		2	251
	37.7%	7.9%		0.4%	46.0%
公衆出入場所	34	7		1	42
	6.2%	1.3%		0.2%	7.7%
仕 事 場	1			2	3
	0.2%			0.4%	0.5%
道 路	11	17	28	4	60
	2.0%	3.1%	5.1%	0.7%	11.0%
そ の 他	9	21		3	33
	1.6%	3.8%		0.5%	6.0%
病院（転院）				157	157
				28.8%	28.8%
計	261	88	28	169	546
	47.8%	16.1%	5.1%	31.0%	100.0%

3. 医療機関別搬送人員の状況

救急搬送人員 546 人中、救急告示医療機関への搬送は 494 人（90.5%）、救急告示医療機関以外への搬送は 52 人（9.5%）となっている。

（第 9 表、第 10 表参照）

第 9 表 開設区分・告示区分別搬送人員

（546 人）

開設区分 告示区分	医 療 機 関						その他の場所		計
	国 立	公 立	公 的	私的病院	私的診療所	計	ドクターヘリ 消防中継 防災ヘリ中継	警察等	
救急告示	15	264	94	121		494			494
	(15)	(32)	(94)	(121)		(262)			(262)
非告示		15		14	9	38	14		52
		(15)		(2)	(0)	(17)	(9)		(26)
計	15	279	94	135	9	532	14		546
	(15)	(47)	(94)	(123)	(0)	(279)	(9)		(288)

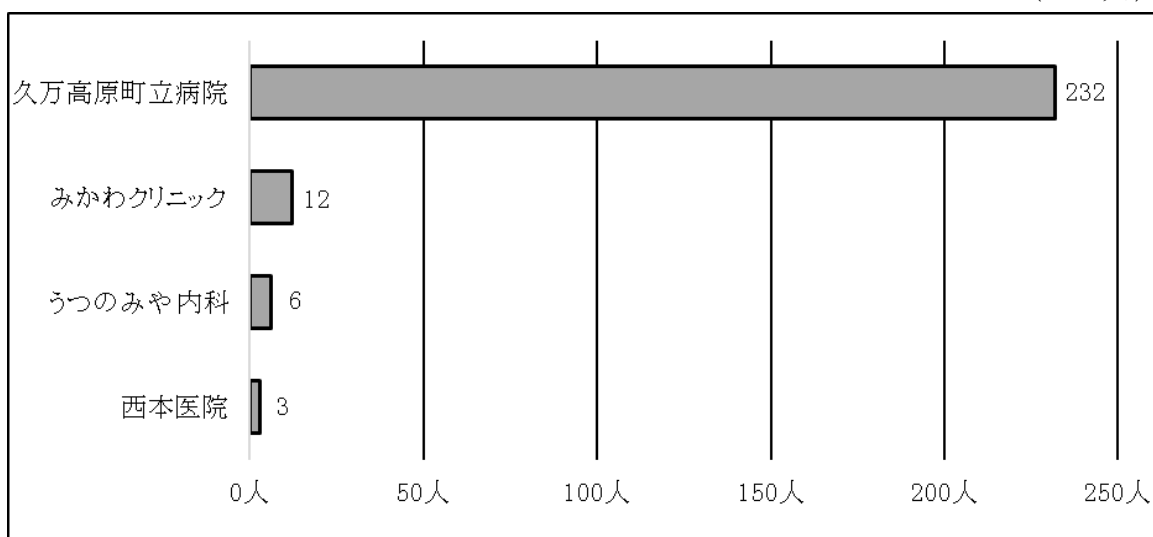
注 1. () は管外の医療機関に搬送された人員である

救急搬送人員 546 人中、管内医療機関への搬送は 253 人で、久万高原町立病院 232 人（91.7%）、みかわクリニック 12 人（4.7%）、うつのみや内科 6 人（2.4%）、西本医院 3 人（1.2%）となっている。また、管外医療機関及び特殊機関への搬送は 293 人で、そのうち転院搬送人員は 157 人（53.6%）を占めている。

（第 2 図、第 10 表参照）

第 2 図 管内医療機関別収容人員

（253 人）



第 10 表 医療機関別搬送人員一覧表

(546 人)

管内医療機関	医 療 機 関 名		開 設	人 員	内転院
	告 示	久万高原町立病院	公 立	232	4
	非告示	みかわクリニック	私 的	12	
		うつのみや内科	私 的	6	
		社団昇和会西本医院	私 的	3	
	合 計			253	4
管外医療機関	救急告示	国立病院機構愛媛医療センター	国 立	14	8
		愛媛大学医学部附属病院	国 立	1	1
		愛媛県立中央病院	公 立	32	20
		松山赤十字病院	公 的	66	40
		済生会松山病院	公 的	27	11
		椿原町立国民健康保険椿原病院	公 的	1	
		南松山病院	私 的	35	17
		松山市民病院	私 的	22	8
		奥島病院	私 的	16	8
		平成脳神経外科病院	私 的	13	4
		野本記念病院	私 的	12	7
		梶浦病院	私 的	8	5
		愛媛生協病院	私 的	8	2
		松山城東病院	私 的	3	2
		渡辺病院	私 的	3	1
		松山まどんな病院	私 的	1	
	合 計			262	134
	非告示	救命救急センター	公 立	15	12
		その他県内	私 的	2	1
	合 計			17	13
特 殊	ドクターヘリ（県外ドクターヘリ含む）			11	6
	他消防機関（消防防災ヘリ）へ中継			3	
	久万高原警察署・その他				
総 計				546	157

4. 傷病程度別搬送人員の状況

搬送人員 546 人の事故種別傷病程度を見ると、死亡 21 人（3.8％）のうち、17 人（3.1％）が急病となっている。また、最も多くなっている中等症 261 人（47.8％）においても、急病が 118 人（21.6％）を占めている。

（第 11 表参照）

第 11 表 事故種別傷病程度

（546 人）

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
急 病	17	37	118	89		261
	3.1%	6.8%	21.6%	16.3%		47.8%
交通事故		4	11	13		28
		0.7%	2.0%	2.4%		5.1%
一般負傷	1	17	35	35		88
	0.2%	3.1%	6.4%	6.4%		16.1%
そ の 他	3	40	97	29		169
	0.6%	7.3%	17.8%	5.3%		31.0%
計	21	98	261	166		546
	3.9%	17.9%	47.8%	30.4%		100.0%

搬送人員 546 人の年齢区分別傷病程度を見ると、高齢者の中等症が最も多く 209 人（38.3％）を占めている。また、重症以上は成人以下の年齢区分では見られず、成人では死亡（0.4％）、重症（4.6％）、高齢者では死亡 17 人（3.1％）、重症 73 人（13.4％）となっている。（第 12 表参照）

第 12 表 年齢区分別傷病程度

（546 人）

傷病程度 年齢区分	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
新生児			1			1
			0.2%			0.2%
乳幼児			3	7		10
			0.5%	1.3%		1.8%
少 年			3	4		7
			0.5%	0.8%		1.3%
成 人	4	25	45	52		126
	0.8%	4.6%	8.2%	9.5%		23.1%
高齢者	17	73	209	103		402
	3.1%	13.3%	38.3%	18.9%		73.6%
計	21	98	261	166		546
	3.9%	17.9%	47.7%	30.5%		100.0%

第 13 表 死亡による不搬送

(12 人)

事故種別	急 病		自 損		一般負傷		その他		計	
死 亡	8件	8人	4件	4人	0件	0人	0件	0人	12件	12人

※搬送拒否、途中帰署等を含めた不搬送件数の総数は 35 件となっている。

5. 急病に係る疾病分類別搬送人員の状況

年齢区分別傷病程度別にみると、中等症以上の高齢者は 54.4%（死亡 5.7%、重症 11.5%、中等症 37.2%）と、成人の中等症以上 9.2%（死亡 0.8%、重症 2.7%、中等症 5.7%）の約 6 倍となっている。（第 14 表参照）

第 14 表 急病に係る年齢区分別傷病程度別搬送人員

(261 人)

傷病程度 年齢区分	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
新生児			1			1
			0.4%			0.4%
乳幼児			3	7		10
			1.1%	2.7%		3.8%
少 年			2	2		4
			0.8%	0.8%		1.6%
成 人	2	7	15	21		45
	0.8%	2.7%	5.7%	8.0%		17.2%
高齢者	15	30	97	59		201
	5.7%	11.5%	37.2%	22.6%		77.0%
計	17	37	118	89		261
	6.5%	14.2%	45.2%	34.1%		100.0%

6. 現場到着所要時間別出場件数の状況

救急出場件数 577 件のうち、転院搬送 157 件、出場途上辞退 4 件を除く 416 件について現場到着所要時間を見ると、10 分以上 20 分未満が 163 件、20 分以上が 104 件となっており、全体の 64.2%を占めている。また、現場到着平均所要時間は 15.3 分（前年 13.1 分）となっている。（第 17 表参照）

第 17 表 現場到着所要時間別・事故種別出場件数 (573 件)

現場到着 所要時間 事故種別	3分未満	3分～ 5分未満	5分～ 10分未満	10分～ 20分未満	20分以上	計	現場到着 平均所要 時間
急 病	1	6	102	103	66	278	14.5
交 通			8	10	10	28	16.3
一般負傷		2	24	42	26	94	17.9
その他	1		5	8	2	16	12.6
計	2	8	139	163	104	416	15.3
転 院	9	33	84	27	4	157	6.8
総 計	11	41	223	190	108	573	13.0

※全国の統計（令和 4 年版消防白書）では、現場到着所要時間は平均 9.4 分となっている。

※救急辞退 4 件を除く

7. 収容所要時間別搬送人員の状況

搬送人員 546 人のうち、転院搬送 157 人を除く病院収容した 389 人についての収容所要時間別（覚知～医療機関などに引き継ぐまでに要した時間）の状況は、60 分以上 120 分未満が最も多く 166 人（42.7%）であった。30 分以上が 464 人（85.4%）及び収容平均所要時間が 57.4 分（前年 55.9 分、1.5 分増）で長時間の救急活動となる場合が多くなっている。（第 18 表参照）

第 18 表 収容所要時間別・事故種別搬送人員の状況

(546 人)

収容所要 時間 事故種別	10分 未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分 以上	計	収容平均 所要時間
急 病		10	45	97	102	7	261	56.4
交 通			1	7	19	1	28	75.2
一般負傷		4	15	26	37	6	88	62.6
その他			2	2	8		12	63.2
計		14	63	132	166	14	389	59.2
転 院		3	2	122	30		187	53.0
総 計		17	65	254	196	14	546	57.4

※全国の統計（令和 4 年版消防白書）では、収容所要時間は平均 42.8 分となっている。

第 19 表 ドクターヘリ要請状況

年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
件 数	20	13	12	11	18	12

第 20 表 ドクターカー要請状況

年	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
件 数	1	4	7	1	6	4	3	1	1	0	0	0	1

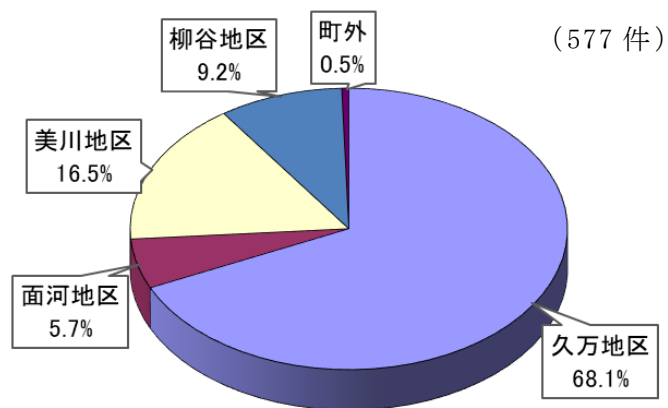
第 21 表 救急隊員の行った応急処置状況

事 故 種 別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員	261	28	88	169	546
止 血			12	3	15
固 定			21	10	31
人 工 呼 吸	12			3	15
酸 素 吸 入	62	2	4	39	107
保 温	65	4	18	35	122
被 覆	1	12	23	6	42
胸 骨 圧 迫	12		1	5	18
心 肺 蘇 生	12		1	5	18
* うち自動式心マッサージ器	3		1	2	6
* 在宅療法継続					
* ショックパンツ					
* 血 圧 測 定	238	24	86	163	511
* 心音呼吸音聴取	12	7	6	6	31
* 血中酸素飽和度測定	241	25	87	165	518
* 心電図測定等	111	2	8	57	178
気 道 確 保	18		4	2	24
* うち経鼻エアウェイ					
* うち喉頭鏡・鉗子等			1		
◎ * うちラリングヘルマスク等	6		2		8
◎ * うち気管挿管					
* 除 細 動	1				1
◎ * 静 脈 路 確 保 CPA前					
◎ * 静 脈 路 確 保 CPA後	3				3
◎ * 薬 剤 投 与 アドレナリン	1				1
◎ * 薬 剤 投 与 ブドウ糖					
◎ * 血 糖 測 定	4				4
そ の 他	255	25	88		368
合 計	1,057	101	363	501	2,022
* 拡大された応急処置等	620	58	191	395	1,264
◎うち特定7項目	14		2		16

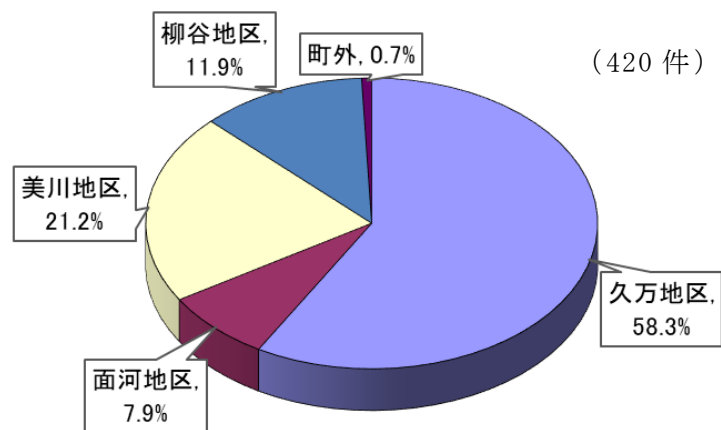
第 22 表 地区別救急出場件数の増減

地区 件数	久万高原町				町外	計
	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
令和5年	393	33	95	53	3	577
	68.1%	5.7%	16.5%	9.2%	0.5%	100.0%
うち転院を除く	245	33	89	50	3	420
	58.3%	7.9%	21.2%	11.9%	0.7%	100.0%
令和4年	407	27	97	54	5	590
増 減	▲ 14	6	▲ 2	▲ 1	▲ 2	▲ 13
増 減 率	▲3.4%	22.2%	▲2.1%	▲1.9%	▲40.0%	▲2.2%

第 3 図 地区別救急出場件数



第 4 図 転院を除く地区別救急出場件数



第 23 表 普通救命講習 I 実施状況

番号	受講日	講習時間	受 講 団 体 名	受講者数	修了証 交付者数	派遣人員
1	2月 10日	3:00	防災士養成講座	17	17	2
2	2月 17日	3:00	防災士養成講座	16	16	2
3	2月 24日	3:00	防災士養成講座	16	16	3
4	3月 10日	3:00	防災士養成講座	5	5	1
5	5月 24日	3:00	町内中学校	35	35	5
6	5月 31日	3:00	町内高齢者福祉施設	16	16	2
7	6月 27日	3:00	林業従事者	33	33	3
8	6月 30日	3:00	町内高等学校	31	31	3
9	7月 14日	3:00	町内中学校	33	33	4
10	7月 30日	3:00	女性防火クラブ	16	16	2
11	8月 8日	3:00	郡内養護教諭	6	6	2
12	9月 8日	3:00	町内こども園	11	11	2
13	9月 20日	3:00	町内高齢者福祉施設	16	16	3
14	9月 21日	3:00	町内高齢者福祉施設	8	8	3
15	9月 21日	3:00	町内高等学校	30	30	3
16	10月 16日	3:00	林業従事者	5	5	2
17	10月 25日	3:00	町内高齢者福祉施設	13	13	2
18	12月 1日	3:00	女性防火クラブ	22	22	2
19	12月 18日	3:00	町内中学校	30	30	4
20	12月 19日	3:00	町内中学校	28	28	3
合計			20団体	387	387	53

第 24 表 救命講習修了者一覧

(平成 5 年からの累計)

	合計	官公庁	消防団	女性防火 クラブ	会社 事業所	学校	その他
上級救命講習	568	36	394	56	15	23	44
普通救命講習	6,760	363	462	312	1,081	3,482	1,060
総修了者数	7,328	399	856	368	1,096	3,505	1,104

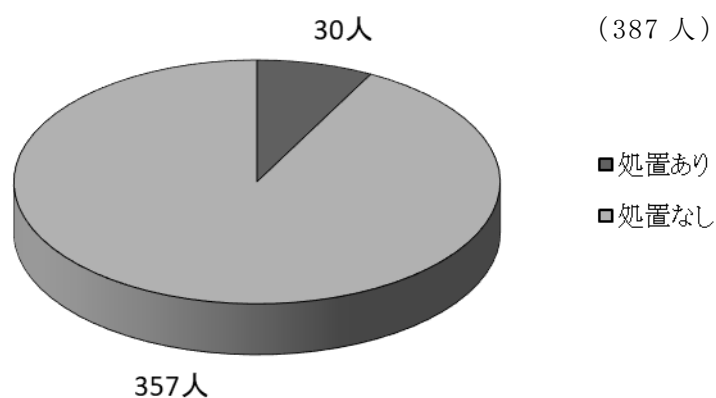
8. 応急手当・口頭指導の実施状況

(1) 応急手当の実施状況

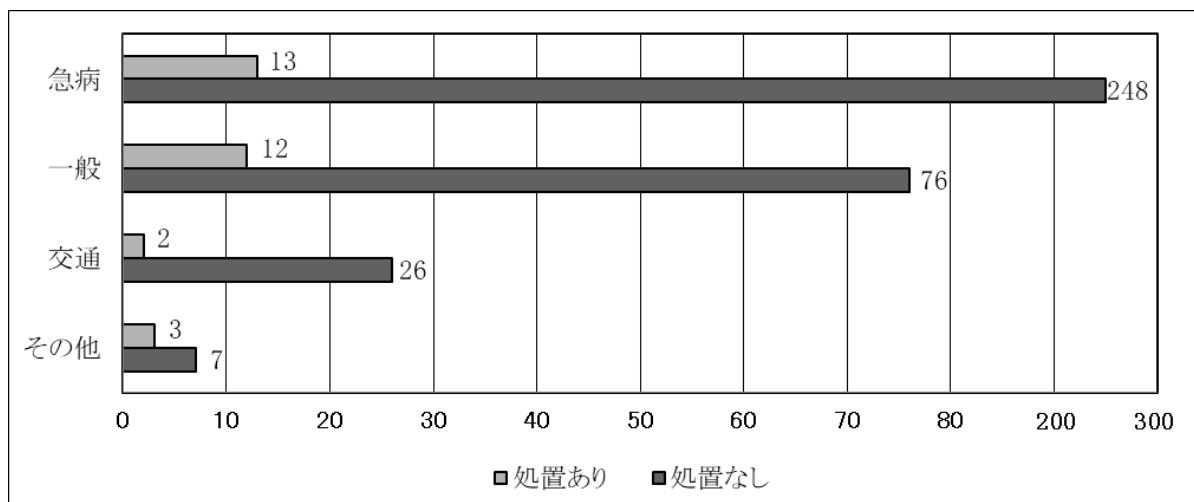
令和5年中の搬送人員546人のうち、転院搬送及びその他（中継搬送）の159人を除く387人について、救急隊到着以前の応急手当の実施についてみると30人（7.8%）が応急手当を受けている。また、事故種別ごとの応急手当の実施についてみると、急病において13人（43.3%）と最も多くなっており、次いで一般負傷12人、交通事故2人となっている。

応急手当の内容を見ると、胸骨圧迫14件、止血8件、固定4件、移動1件、AED使用1件、被覆1件となっており、応急手当の実施者については関係者が46.7%を占めている。
（第5・6・7・8図参照）

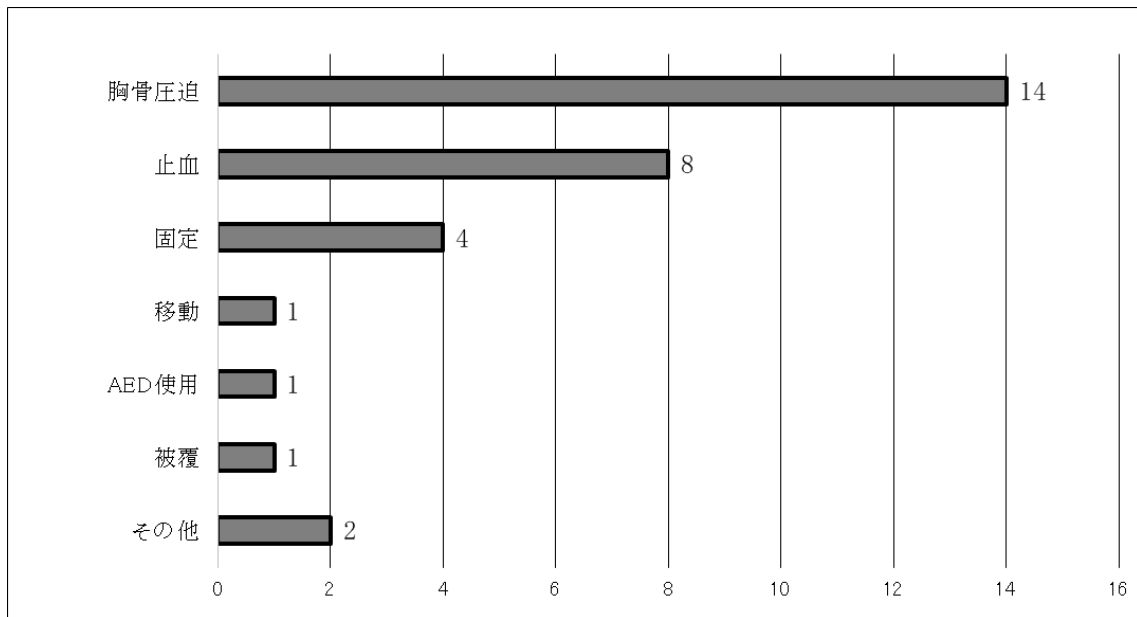
第5図 応急手当実施状況



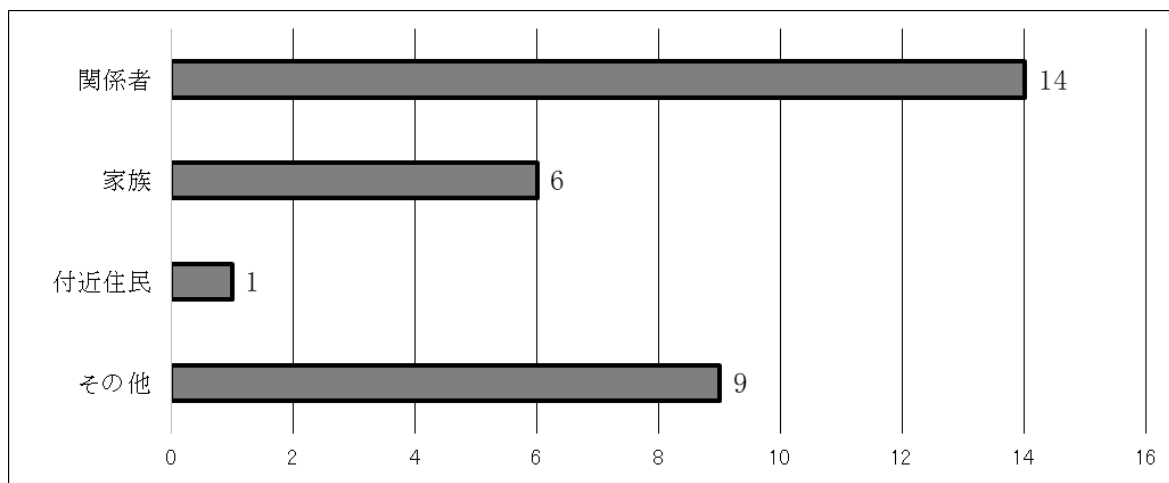
第6図 事故種別別応急手当実施状況



第 7 図 応急手当内容



第 8 図 応急手当実施者



(2) 救急通報受信中における通報者等に対する応急手当の指導（以下、口頭指導という）状況について

令和 5 年中の搬送人員 546 人のうち、転院搬送及びその他（中継搬送）の 159 人を除く 387 人について、口頭指導を実施した件数は 29 件、指導合計数は 29 件であった。また、口頭指導による応急手当の実施は 26 件（89.7%）、未実施は 3 件（10.3%）となっている。

（第 25 表参照）

第 25 表 口頭指導状況

口 頭 指 導 の 項 目	指導件数
胸骨圧迫・人工呼吸などに関するもの	10件
止血・被覆などに関するもの	4件
その他（体位管理）	1件
合 計	15件

※指導回数には複数項目の場合が存在するため回数と件数は一致しない。

第 26 表 久万高原町内 AED 設置箇所状況 (総設置箇所 68 箇所)

久 万 地 区		25	うつのみや内科	5	面河診療所
1	久万高原町役場(本庁)【寄贈】	26	高橋歯科医院	6	消防団多機能車両(里成)
2	久万 B & G 海洋センター	27	わたなべ歯科医院	7	面河山岳博物館
3	養護老人ホーム「ささゆり荘」	28	I C ランド土居	美 川 地 区	
4	老人保健施設「あけぼの」	29	道の駅「天空の郷さんさん」	1	久万高原町役場(美川支所)
5	久万高原町産業文化会館	30	道の駅防災センター	2	美川小学校
6	久万高原町教育委員会	31	久万カントリークラブ	3	仕七川小学校
7	久万小学校	32	高原ゴルフクラブ	4	美川中学校
8	直瀬小学校	33	入野福祉館	5	岩屋寺【私設置】
9	明神小学校	34	農業公園アグリピア	6	仕七川駐在所
10	父二峰小学校	35	大宝寺【私設置】	7	美川中学校「若竹寮」
11	畑野川小学校	36	久保建設【私設置】	8	みかわクリニック
12	久万中学校	37	石丸建設【私設置】	9	小椋商店
13	上浮穴高校【県設置】	38	くま安心館【寄贈】	10	久万高原町社会福祉協議会(本所)
14	久万高原町立病院	39	グループホーム「サマリア」【寄贈】	柳 谷 地 区	
15	父二峰診療所	40	グループホーム「メサイア」【寄贈】	1	久万高原町役場(柳谷支所)
16	国民宿舎「古岩屋荘」	41	まちなか交流館	2	四国電力面河発電所
17	久万スキーランド【私設置】	42	久万保健センター	3	消防団多機能車両(落出)
18	ふるさと旅行村【寄贈】	43	県中予地方局	4	中津公民館
19	畑野川歯科【県歯科医師会設置】	44	県林業センター	5	古味集会所
20	久万高原警察署	面 河 地 区		6	吉村医院
21	四国電力久万営業所	1	面河小学校	7	柳谷小学校
22	久万こども園	2	おもご高齢者生活支援ハウス		
23	伊予銀行久万支店【私設置】	3	若山集会所		
24	松山市農協久万支所【私設置】	4	相ノ峰公民館【私設置】		

救 助 編



危険に立ち向かうオレンジの精鋭

救助活動体制の現状

(1) 救助活動状況の推移

令和5年における救助出動件数は45件、このうち活動件数は38件、救助人員（救助活動により救助された人員をいう。）は38人となっており、前年よりそれぞれ減少している。

（第1表 第1図参照）

第1表 過去10年間の救助活動状況の推移

区 分 年 別	救 助 出 動 件 数		救 助 活 動 件 数		救 助 人 員	
	件数	増減率(%)	件数	増減率(%)	人員	増減率(%)
H26年	30	—	22	—	24	—
H27年	27	△10	24	9.1	22	△8.3
H28年	44	63.0	35	45.8	25	13.6
H29年	55	25.0	41	17.1	29	16.0
H30年	49	△10.9	42	2.4	40	37.9
R 1年	40	△18.4	30	△28.6	29	△27.5
R 2年	39	△2.5	32	6.7	31	6.9
R 3年	36	△7.7	26	△18.8	25	△19.4
R 4年	59	63.9	54	107.7	48	92.0
R 5年	45	△23.7	38	△29.6	38	△20.8

第1図 救助出動状況と救助人員



(2) 事故種別状況

事故種別出動件数は、山岳事故が前年6件から12件に増加し、ドクターヘリ支援と並んで最多件数となり、次いで、救急搬送応援が10件と多くなっている。

(第2表参照)

第2表 事故種別状況

事故種別 救助出動活動件数 及び救助人員		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	建 物 事 故	防 災 ヘ リ 支 援	ド ク タ ー ヘ リ 支 援	搬 送 応 援	捜 索 活 動	山 岳 事 故	そ の 他	合 計
出動	件 数	1	3	3	0	0	12	10	1	12	3	45
	構 成 比 (%)	2.2%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	26.7%	22.1%	2.2%	26.7%	6.7%	100%
活動	件 数	1	3	3	0	0	12	8	1	8	2	38
	構 成 比 (%)	2.6%	7.9%	7.9%	0.0%	0.0%	31.6%	21.1%	2.6%	21.1%	5.2%	100%
人員	人 員 数	0	4	4	0	0	12	8	0	8	2	38
	構 成 比 (%)	0%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	31.6%	21.1%	0.0%	21.1%	5.2%	100%
過去10年の合計件数		27	47	12	3	6	86	97	44	69	25	416

(注)火災による出動・活動件数は、建物火災のみを計上。

(3) 事故種別出動人員及び活動人員の状況

事故種別出動人員及び活動人員数はドクターヘリ支援が最も多く、次いで山岳事故となっている。

(第3表・第2図参照)

第3表 事故種別出動人員及び活動人員の状況

事故種別 出動人員 及び活動人員		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	建 物 事 故	防 災 ヘ リ 支 援	ド ク タ ー ヘ リ 支 援	搬 送 応 援	捜 索 活 動	山 岳 事 故	そ の 他	合 計
救助隊員	出 動	5	5	6			17	6	5	31	5	80
	活 動	5	5	6			17	5	5	22	4	69
消防隊員	出 動	17	8	11			17	15	2	9	5	84
	活 動	17	8	11			17	13	2	5	3	76
救急隊員	出 動		12	3			37	32		24	9	117
	活 動		12	3			37	25		15	6	98
合 計	出 動	22	25	20			71	53	7	64	19	281
	活 動	22	25	20			71	43	7	42	13	243

(注)ア. 各欄上段の「出動」とは、救助活動を行うために出動した全ての人員を、下段の「活動」とは、救助出動人員のうち実際に救助活動を行った人員を計上。

イ. 火災の出動及び活動人員は、現場に出動した消防・救急・救助隊員数を計上。

(4) 主な救助活動

第 4 表 令和 5 年の主な救助活動

番号	種別	発生月	発生場所	出動人員
				救助人員
1	搬送応援	3 月	久万高原町 上野尻	6 人
				1 人
	山林内で滑って転倒し、頸部痛を訴えているとの救急要請。傷病者が山林内に居ることから搬送応援出動。			
2	交通事故	5 月	久万高原町 黒藤川	6 人
				1 人
	車両がガードレールに衝突し、傷病者の下腿部が挟まれ脱出困難のため救助出動。			
3	水難	8 月	久万高原町 仕出 御三戸河原	6 人
				1 人
	ボートで川下り中の男性が御三戸嶽の岩場に取り残され自力で戻れなくなり救助出動。			
4	山岳	9 月	久万高原町 若山 鉄砲石川上流	7 人
				1 人
	石鎚山登山者 2 名が、途中で道に迷い、1 名が斜面を滑落して負傷したため救急救助出動。			
5	ヘリ支援	10 月	久万高原町 中津	6 人
				1 人
	現場活動中の救急隊からの Dr ヘリ要請により、ヘリ支援出動。			

予 防 編



10 年
おつかれさま

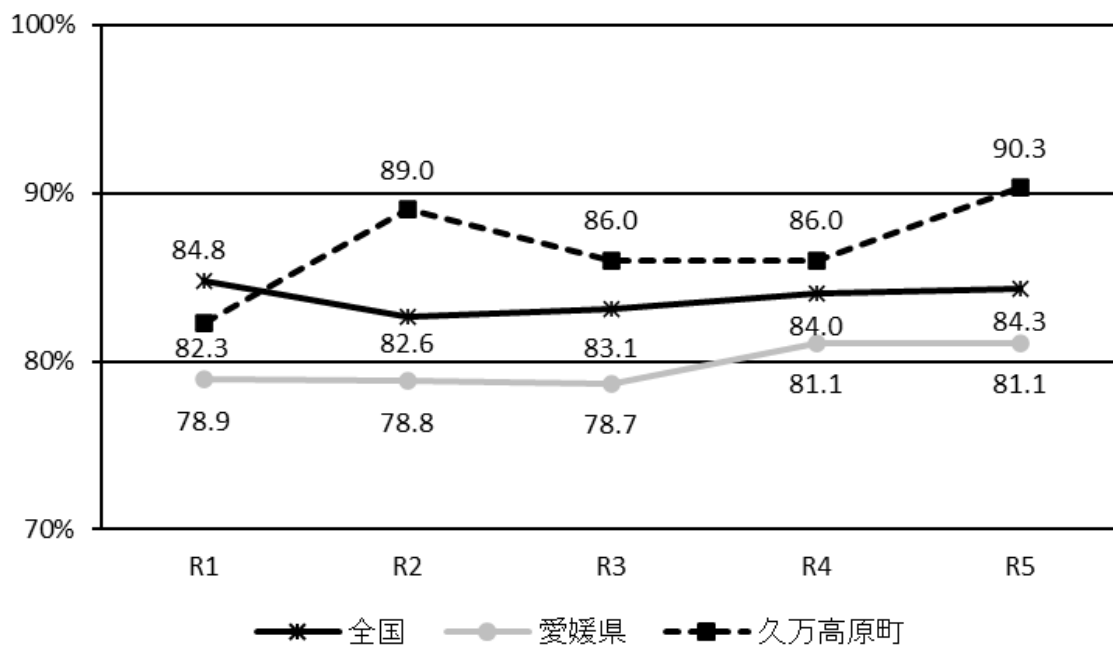


火災予防 私たちにできること！

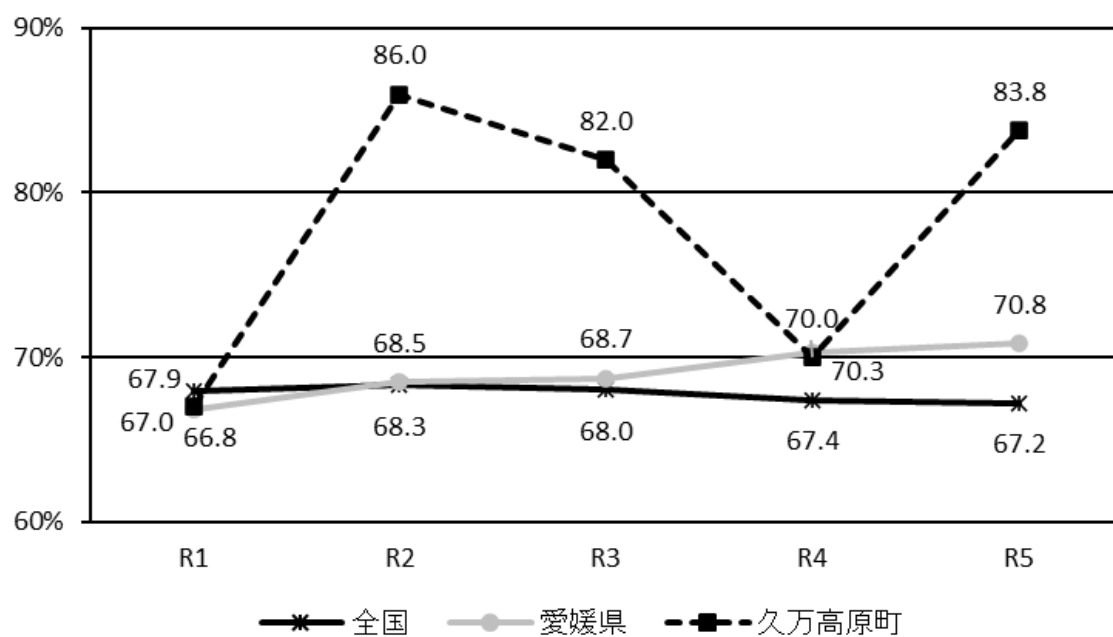
予防行政の現状

1. 住宅防火対策

第1図 住宅用火災警報器設置率の推移



第2図 条例適合率の推移



※ 第1図・第2図は標本調査によるもの

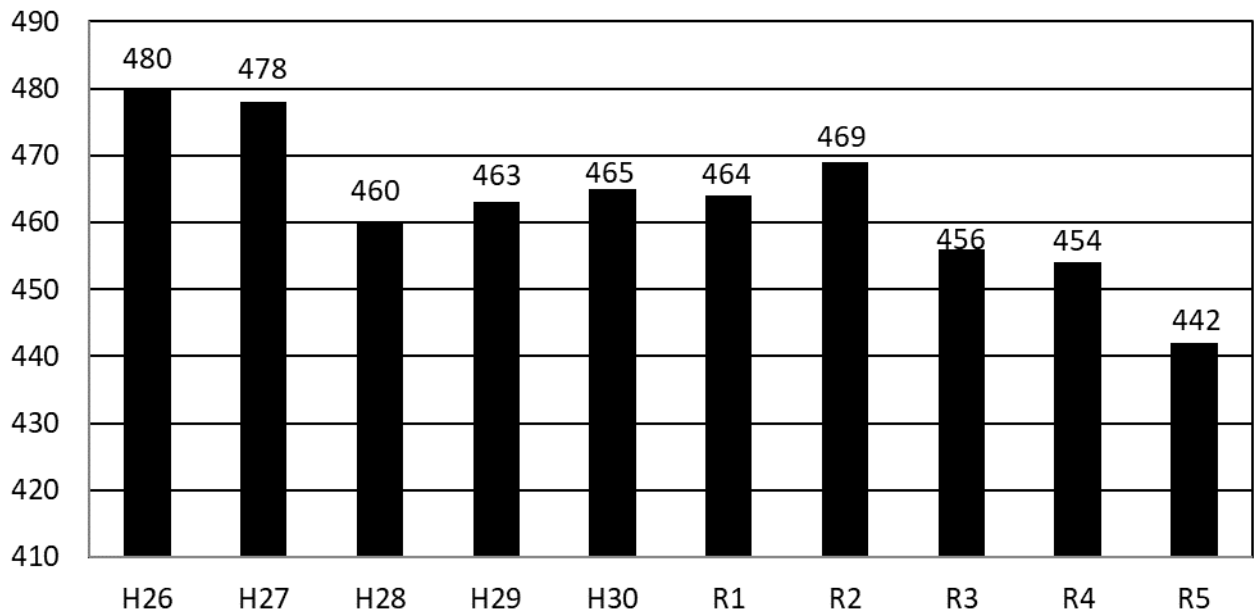
2. 防火対象物

第1表 用途・地区別防火対象物数

			久万地区			面河地区			美川地区			柳谷地区			合計		
			R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1	1	-			-			-			-	1	1	-
	ロ	公会堂・集会場	19	19	-	7	7	-	5	5	-	5	5	-	36	36	-
2	イ	キャバレー・カフェ等			-			-			-			-	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール			-			-			-			-	-	-	-
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			-			-			-			-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等			-			-			-			-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類			-			-			-			-	-	-	-
	ロ	飲食店	3	3	-			-			-			-	3	3	-
4		百貨店・マーケット・その他店舗 展示場	9	10	1	1	1	-			-			-	10	11	1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	9	9	-	3	3	-	2	2	-	1	2	1	15	16	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	25	24	-1	3	3	-	7	7	-	5	5	-	40	39	-1
6	イ	病院・診療所又は助産所	5	5	-			-	1	1	-		1	1	6	7	1
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	9	9	-			-			-			-	9	9	-
	ハ	老人デイサービス施設等	7	6	-1	1	1	-	1	1	-	1	1	-	10	9	-1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	4	-			-	2	2	-			-	6	6	-
7		小中高等学校・各種学校等	21	21	-			-	9	9	-	2	2	-	32	32	-
8		図書館・博物館・美術館	6	6	-	1	1	-			-			-	7	7	-
9	イ	蒸気浴場等			-			-			-			-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	1	1	-			-			-			-	1	1	-
10		車両停車場			-			-			-			-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	5	5	-			-	1	1	-			-	6	6	-
12	イ	工場・作業場	35	36	1	2	2	-	8	8	-		1	1	45	47	2
	ロ	映画スタジオ等			-			-			-			-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	3	3	-			-	1	1	-			-	4	4	-
	ロ	飛行場の格納庫			-			-			-			-	-	-	-
14		倉庫	37	34	-3	2	2	-	2	2	-	1	1	-	42	39	-3
15		前各項に該当しない事業場	85	74	-11	2	2	-	10	10	-	18	18	-	115	104	-11
16	イ	特定の複合用途対象物	29	27	-2	4	5	1	8	8	-	4	3	-1	45	43	-2
	ロ	その他複合用途対象物	12	13	1	1	1	-	3	3	-			-	16	17	1
17		重要文化財・重要美術品	2	2	-			-	3	3	-			-	5	5	-
18		アーケード			-			-			-			-	-	-	-
19		市町村長の指定する山林			-			-			-			-	-	-	-
合 計			327	312	-15	27	28	1	63	63	-	37	39	2	454	442	-12

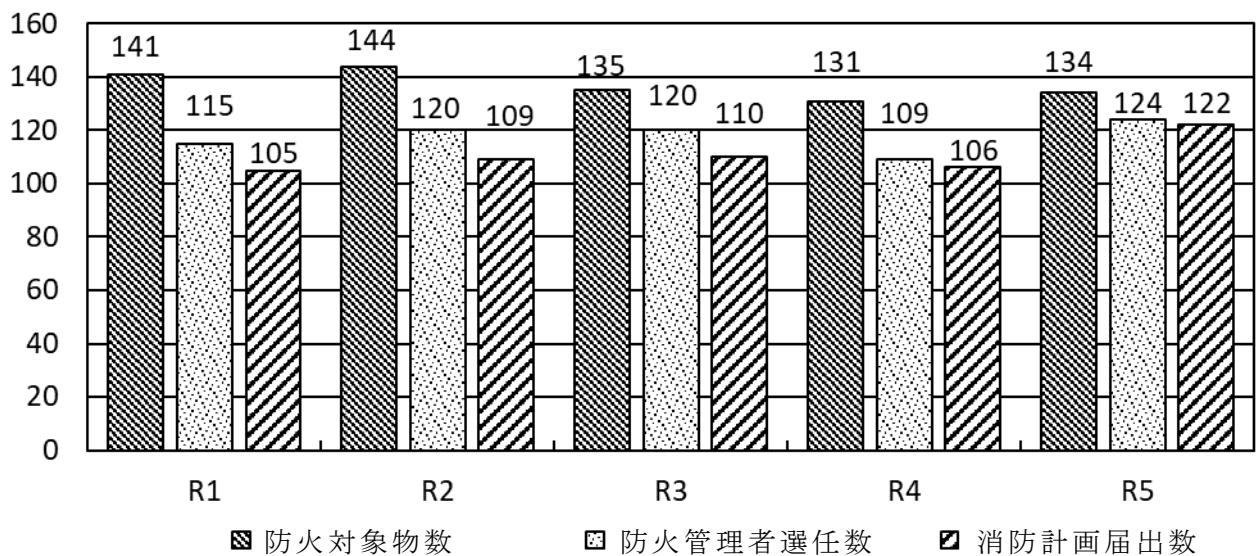
※消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物のうち(1)項から(16の3)項までに掲げる防火対象物で延べ面積が150㎡以上のもの及び(17)項から(19)項に掲げる防火対象物

第3図 防火対象物数の推移

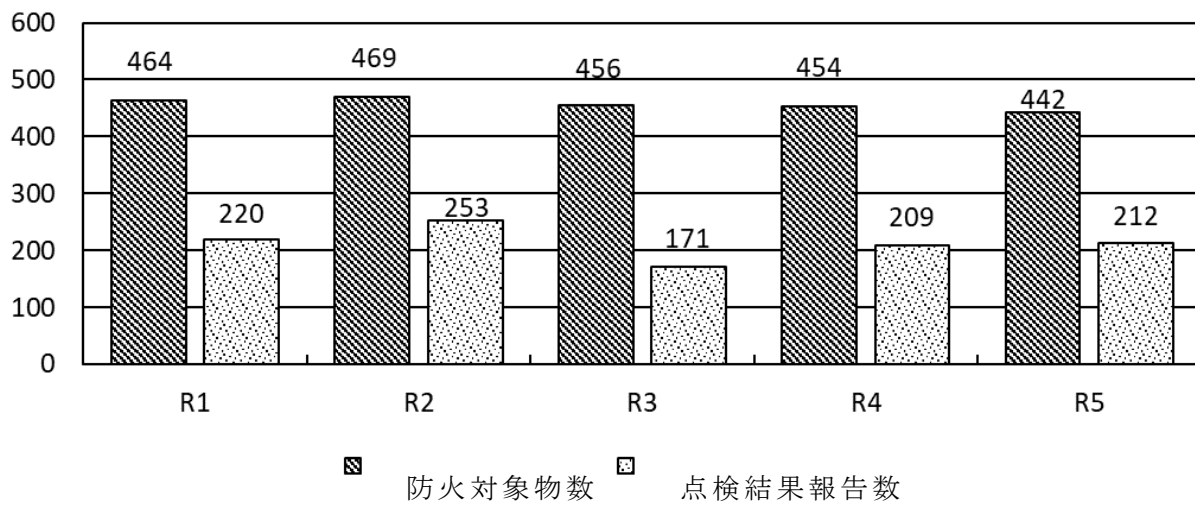


3. 防火管理規制

第4図 防火管理者選任・消防計画届出状況



第 5 図 消防用設備点検結果報告状況



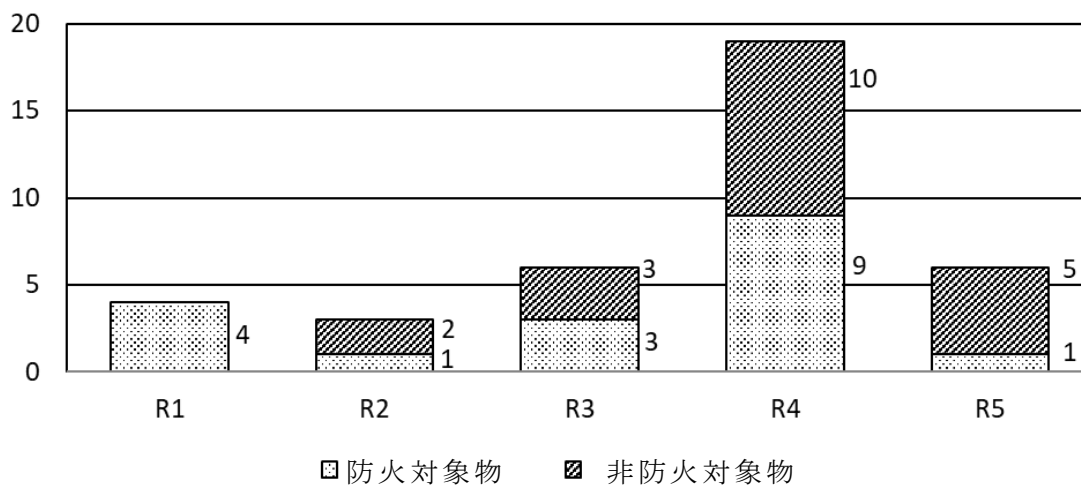
4. 立入検査

第 2 表 立入検査状況

	R1	R2	R3	R4	R5
対象物数	464	469	456	454	442
立入検査数	188	171	141	192	170
実施率	40.5%	36.5%	30.9%	42.3%	38.5%

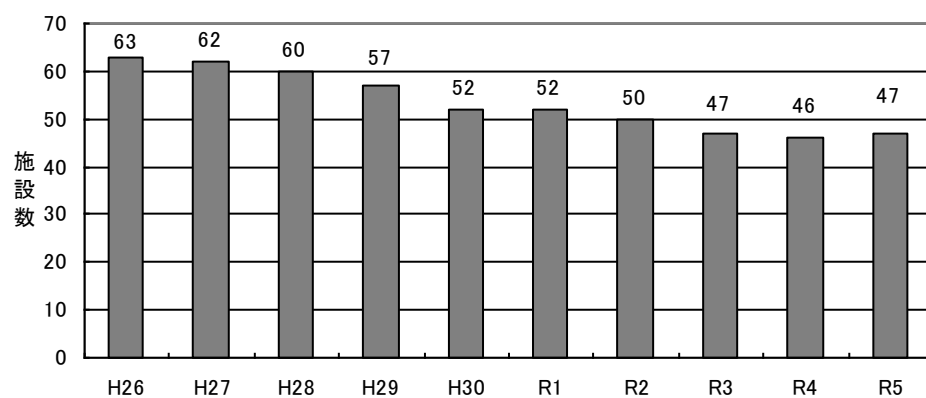
5. 消防同意

第 6 図 消防同意処理状況



6. 危険物

第7図 危険物施設数の推移



第3表 許可区分別・地区別危険物施設数

地区別		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
貯蔵所	屋 内	2				2
	屋外タンク	4 (+ 1)		1		5 (+ 1)
	屋内タンク	1				1
	地下タンク	7			1	8
	簡易タンク	2				2
	移動タンク	6 (- 1)		3 (+ 1)		9
	屋 外					0
取扱所	給 油 [自家用]	10 [3]	1 [1]	4 [2]	1 [0]	16 [6]
	一 般	3		1		4
合 計		35	1	9 (+ 1)	2	47 (+ 1)

() 内は前年増減数

高齢者の防火対策

第1表 久万高原町における高齢化率の推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
久万高原町 総人口(人)	8,671	8,495	8,299	8,034	7,830	7,574	7,309
久万高原町 高齢者数(人)	4,046	3,994	3,911	3,865	3,811	3,750	3,643
久万高原町 高齢化率(%)	46.66	47.02	47.53	48.11	48.67	49.51	49.84
愛媛県 総人口(人)	1,399,453	1,387,133	1,374,887	1,362,859	1,350,801	1,334,438	1,320,035
愛媛県 高齢者数(人)	434,035	438,049	440,710	442,170	443,576	443,774	441,606
愛媛県 高齢化率(%)	31.01	31.58	32.05	32.44	32.84	33.26	33.45

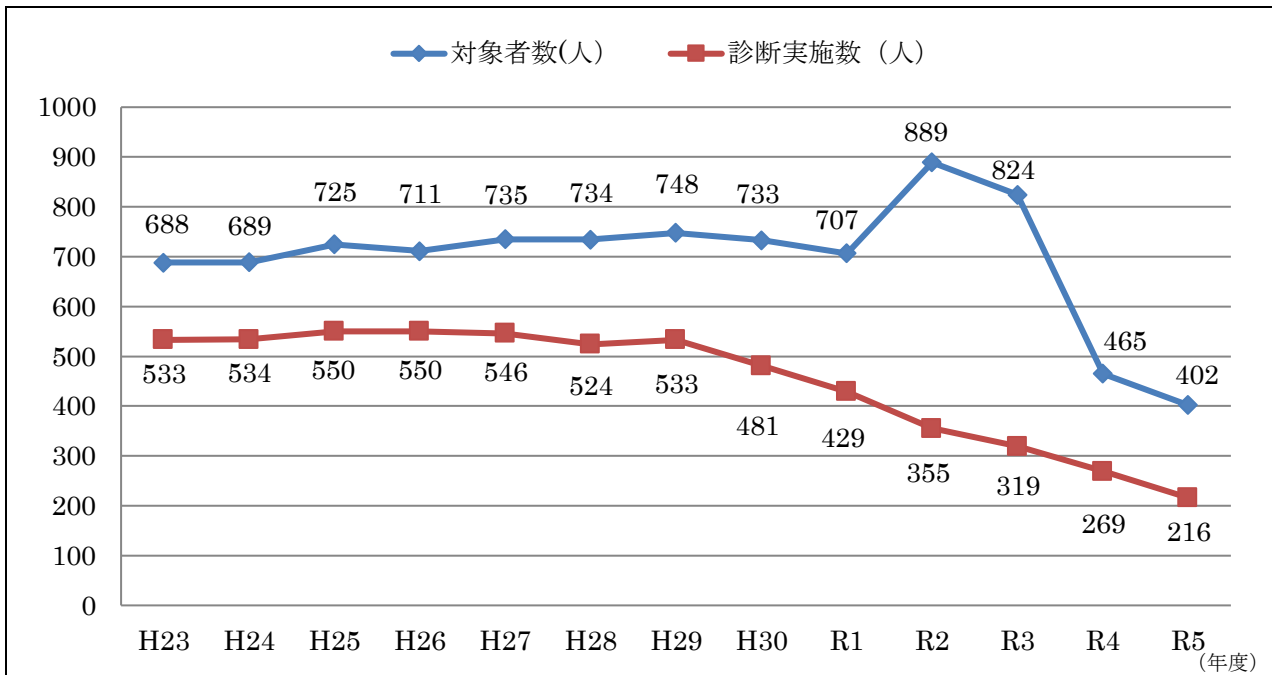
※愛媛県介護長寿課発行「高齢者人口等統計表」より抜粋

※高齢者の年齢は65歳以上

防災診断

1. ひとり暮らしのお年寄り宅防災診断

第1図 対象者数及び診断実施数の推移



※対象者はR3年度までは65歳以上、R4年度からは75歳以上。

第2表 地区別訪問状況及び建物の状況

久万地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築構造		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	木造	木造以外	以前	以降
令和5年度	52	153	205	107	52.2	105	2	79	24
令和4年度	63	193	256	133	52.0	132	1	107	24
令和3年度	146	304	450	162	36.0	157	5	120	40
令和2年度	176	380	513	192	37.4	186	6	154	35
令和元年度	109	254	363	207	57.0	198	6	166	35

面河地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築構造		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	木造	木造以外	以前	以降
令和5年度	13	26	39	18	46.2	16	2	15	3
令和4年度	11	28	39	21	53.8	20	1	18	3
令和3年度	22	56	78	37	47.4	37	0	35	2
令和2年度	22	54	74	29	39.2	29	0	29	0
令和元年度	16	53	69	45	65.2	42	3	41	4

美川地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築構造		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	木造	木造以外	以前	以降
令和5年度	33	78	111	63	56.8	61	2	54	8
令和4年度	34	81	115	81	70.4	79	2	70	9
令和3年度	72	135	207	85	41.1	85	0	71	14
令和2年度	74	133	204	99	48.5	97	2	83	16
令和元年度	61	118	179	114	63.7	109	4	99	14

柳谷地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築構造		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	木造	木造以外	以前	以降
令和5年度	14	33	47	28	59.6	28	0	25	3
令和4年度	14	41	55	34	61.8	33	1	29	5
令和3年度	34	55	89	35	39.3	35	0	32	2
令和2年度	40	64	98	35	35.7	33	2	30	4
令和元年度	31	65	96	63	65.6	61	2	55	7

※各地区の在宅数・在宅率の対象外数は除く

※各地区の建築構造・建築年不明数は除く

第3表 火気使用状況

	暖房器具				調理器具				入浴設備				仏壇 (線香)
	石油	電気	ガス	その他	石油	電気	ガス	その他	石油	電気	ガス	かまど	
久万地区	86 (0)	51 (0)	2 (0)	5 (2)	3 (0)	13 (0)	90 (5)	1 (1)	31	31	35	16	88
面河地区	16 (0)	7 (0)	0	0	0	2 (0)	16 (0)	0	5	5	3	10	15
美川地区	51 (0)	27 (0)	0	0	0	6 (0)	56 (1)	0	14	23	8	28	53
柳谷地区	23 (0)	9 (0)	1 (0)	1 (0)	0	2 (0)	26 (0)	0	3	12	6	15	23

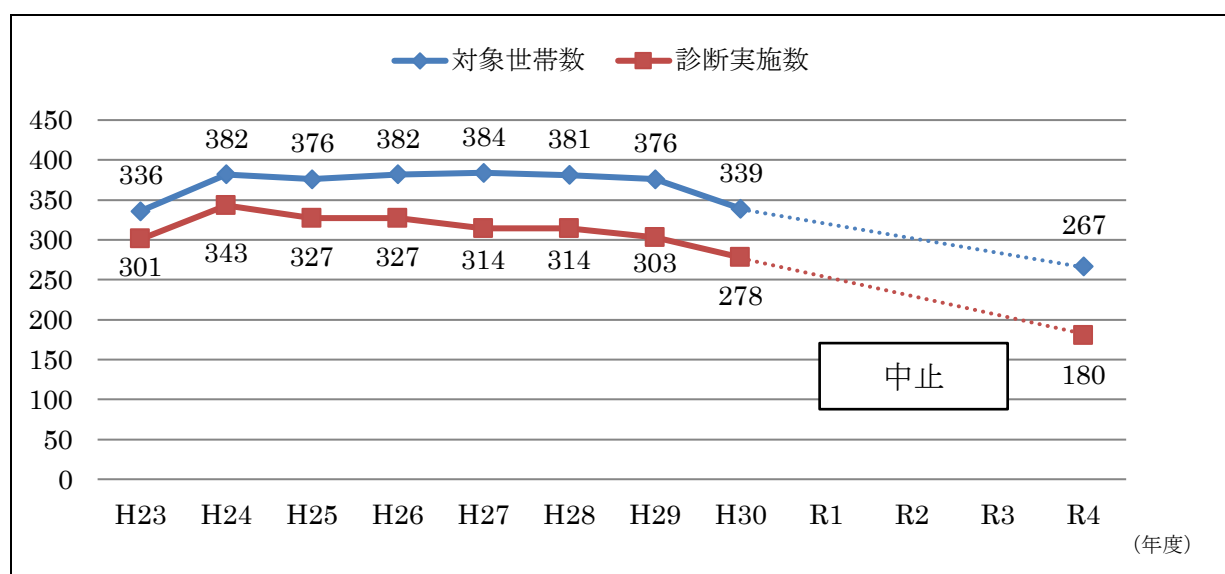
※ () 内は安全装置が付いていない物の数

第4表 住宅用防災機器等の設置状況

	住宅用火災警報器		ガス漏れ警報器		消火器		その他の消火具	
	設置数	設置率 (%)	設置数	設置率 (%)	設置数	設置率 (%)	設置数	設置率 (%)
久万地区	95	88.8	86	80.4	65	60.7	11	10.3
面河地区	15	83.3	15	83.3	12	66.7	2	11.1
美川地区	54	85.7	53	84.1	39	61.9	2	3.2
柳谷地区	24	85.7	23	82.1	24	57.1	3	10.7

2. 後期高齢者夫婦世帯等防災診断

第2図 対象世帯数及び診断実施数の推移



※対象は75歳以上の夫婦世帯

※R1～3年度は新型コロナウイルスの影響により中止。

消防現況 令和5年版

発行日 令和6年3月1日

発行 久万高原町消防本部

〒791-1207

愛媛県上浮穴郡久万高原町下野尻甲33番地

TEL (0892) 21-2411 FAX (0892) 21-2656

久万高原町
イメージキャラクター



©kurakogen